## ～人がつながる　まちが変わる～

### 西部支え合いまち会議（にしまち会議）

# にしまちいきたより

挨拶を通じて声を掛けやすい関係を築きながら、程よい距離感で人と人とがつながり、支え合いが広がっていく地域を目指して、西部支え合いまち会議（にしまち会議）は活動に取り組んでいます。

絵：徳永徹さん

**「おはようございます！今日は暖かいわね～。気を付けて行ってらっしゃい！」**

**「あ。マスクを忘れた！」「新しいシャツを着てみたよ。」**

**「最近どうしてる？」「たまには外に出ないとね。身体が鈍ってきたなぁ。」**

**～毎朝Ｋさんの優しい声が聞こえます。（「私の挨拶運動」中面コラムに続く）～**

## かがやくまちびと発見☆

困った時に誰もが食品を受け取れる環境づくりを目指しています！

**横田さん**
（NeighbourFood ネイバーフード代表）

**Q 食支援ボランティア団体・ネイバーフードを、会社勤めしながら東が丘で始めたきっかけは？**

実家の近くであり、まずは自分の住む地域を、誰もが安心して暮らせる環境にしたいと思ったからです。

**Q ネイバーフードの具体的な活動は？**

地域の中で余剰食品等を集め、支援が必要と認識されている方へ渡しています。事前にネットで申込みを受け付け、活動拠点（現在は中目黒に移転）で配布しています。

**Q メッセージをお願いします！**

災害に備えるように、経済的な困難にも地域で備える仕組みが作れたら嬉しいです。平日は会社で働き、週末などに余暇を活用して仲間とNeighbourFood ネイバーフードの活動を行っています。詳細は是非 HP をご覧ください。

退職後に地域の知り合いが増えて良かった！

**石井さん**
（大岡山町会　厚生部長）

**Q 町会や住区と関わるようになったきっかけは？**

町会は近所の方から誘われました。掲示板を見て、中根住区住民会議の吹き矢に参加するようになり、今は住区のイベント等にも関わっています。

**Q やってよかったこと、変わったことはありますか。**

顔なじみが増えて、知らない人からも声を掛けられるようになったことです。周りの人から様々な話が聞けて世の中が広がったこともいいですね。

働いているときは近所付き合いも少なく、地域のことは何も知りませんでした。今では町会や住区で若い世代と対等に付き合ってもらえて、年寄り扱いされないのが嬉しいです。

頼りにされると気持ちに張り合いが出て健康を維持する秘訣にもなっているかなと思います。

## にしまちメンバーで行ってきました！

### なかよし・うおよし
### 駄菓子（1F）とワークスペース（2F）

赤い駄菓子の旗が目印の店に入った途端、懐かしい品があふれています。それも１０円から！子ども達が小銭を握りしめて目の色を変えていました。「特にくじ付きのお菓子が人気です。」と笑っていたのが店長の北澤さん（現八雲住区住民会議会長）です。土日は家族連れの客が多くおにぎりも評判です。２階の貸しスペースで、懐かしいビー玉入りのラムネを飲んできました。

柿の木坂 1-34-15
定休日：月・火・祝日
11：30～18：00
ワークスペースは貸切も可能です。
詳細は HP で

↑左から店主の北澤さん、徳永さん（にしまちメンバー）、スタッフのお二人、山口さん（にしまち会議座長）

## にしまちクイズ

Q１：パーシモンホール大ホールの天井照明は何個付いていますか？
① ８個　② １６個　③ ２０個

Q２：めぐろ区民キャンパス内には何の歌碑がありますか？
① 新古今和歌集　② 古今和歌集　③ 万葉集

Q３：緑が丘にゆかりのある、世界的にも著名な作家は誰ですか？
① 谷崎潤一郎　② 川端康成　③ 三島由紀夫

Q４：西部地区に大使館は何か所ありますか？
① ３か所　② ５か所　③ ７か所

Q5. 東が丘や八雲には果物の収穫ができる農園があります。その果物とは何でしょうか？
① 柿　② ぶどう　③ みかん

★答えは裏へ★

コラム

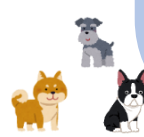
## ＊＊＊日頃の活動について＊＊＊

### 「私の挨拶運動」（表紙の続き）
### ～民生児童委員の活動のなかで～

中学2年の孫が小学校に入学した頃から、自宅前で通りがかりの人達へ挨拶するようになりました。初めは恥ずかしく声は小さめでしたが、月日が経つにつれ違和感がなくなって今は日課となっています。

ゆっくり犬の散歩をする方、ママチャリで素早いスピードで保育園に子どもを送る父親など．．．今は先に挨拶をされて慌てて言い返すこともあります。忙しい通園・通学の子ども達と通勤の大人達も、挨拶は心を開いて、心に近づく鍵となります。今はマスクで見えづらいですが、素顔の笑顔が見られる日はいつになるでしょう。

八雲在住　Ｋさん



### 「最近私が感じたこと」

ふだん目黒区社会福祉協議会在宅福祉サービスセンターで高齢者のお手伝いをしている私に、ひとり暮らしの高齢者宅の電球を２個取り替えて欲しいと頼まれました。

いざ伺ってみると１個は高い場所にあり、脚立をお持ちでなかったために取り替えられません。その方も私も、近所に知り合いがなく、脚立を借りることも出来ませんでした。

ひとり暮らしの高齢者が増えていくこれから、ご近所同士や身近な町会の班などで、小さな困り事を相談、解決出来る、負担にならないゆるい繋がりを作ることができるといいなあと思いました。

柿の木坂在住　Ｍさん

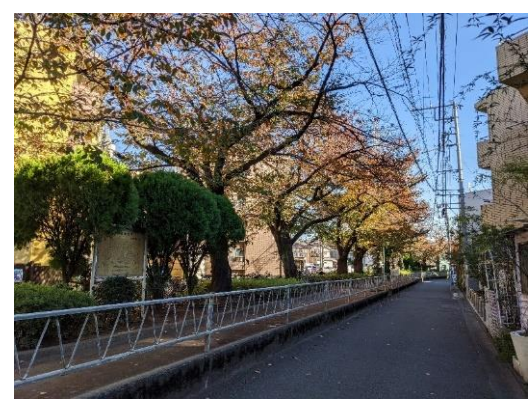
## ＊＊＊西部地区の今昔写真＊＊＊

▲昭和43年当時の呑川橋の下。（吉田信夫さん撮影）

### のみがわ 呑川の今と昔

昭和５１年に暗渠化された呑川緑道ですが、大正時代終り頃まで鷺草（さぎそう）が自生していたそうです。雨が降り続くと辺り一面飲み込むがごとく水浸しにしたのが、その名の由来と言われています。

昔は土手だったので、落ちたボールを竿竹で引き寄せて取ったり、大雨の際にはオートバイや畳など流されたりしたこともあったようです。



昭和５９年発行　沿線コミュニティー誌『とうよこ沿線 No.24 “椎”』より。
左は昭和４４年八雲１丁目付近の呑川に落ちた車の写真。

## 支え合い活動のパイオニア　ご紹介！

### 民生児童委員として33年間地域福祉に貢献
### ～黒崎七重さんと末田嘉壽子さんが令和3年瑞宝単光章受章～

↑　チャイルドサロン

←　黒崎さん

↑　東根ダンケでの末田さん

お二人は昭和４９年１２月１日から平成１９年１１月３０日まで３３年間西部地区の民生児童委員として、地域福祉向上のためご活躍されました。

黒崎さんは大岡山西住区センターで毎月行われている『チャイルドサロン』を子育て中の母親のために立ち上げ、活動されました。区内初の子育てサロンは、現在代表の今井さんに引き継がれ、今も多くのボランティアが関わり、活発に行われています。子育てで孤立しないようにとの思いから、黒崎さんが尽力された取り組みが脈々と受け継がれています。

末田さんは『東根住区高齢者まつの会』という配食・会食会（現在はコロナ禍で休止中）を立ち上げられました。また、ミニデイ『東根ダンケ』を長年開催してこられました。末田さんは「使命感や悲壮感を持たず、ボランティア自体が好きで楽しんでやってきました。おかげさまで、私はお金には代えられないものをいただいています。元気が出て、心豊かに笑顔でいられますよ。伊達巻やふれあいのお弁当づくりなど、趣味として今も自宅で楽しく続けています。」と話されていました。

お二人のように、支え合いの種を蒔いて育てる人の輪が少しずつ広がっています。

### ２面のクイズ答え

↑↓めぐろ区民キャンパス内歌碑

Q１：①　八雲の地名に因んで雲に見立てた照明が八つ付けられています。

Q２：③　この地域の防人とその妻によって詠まれた歌が万葉集に収められており、白い円盤に三首刻まれた歌碑がめぐろ区民キャンパス北西付近にあります。

Q３：③　ちょうど『金閣寺』を書きあげた時期に緑が丘に住んでいたそうです。

Q４：②　ガボン・アゼルバイジャン・スーダン・ケニア・トーゴ共和国で５か国の大使館があります。東が丘と八雲の住宅地に点在しています。

Q５：②　ぶどう農園があり、毎年ぶどう狩りを楽しむことができます。

西部支え合いまち会議（にしまち会議）は西部地区で支え合い活動を行っている個人をはじめ、西部包括支援センターや社会福祉協議会の職員で構成されています。地域の支え合いネットワークづくりを目指して、これまで『支え合い・いどばた会議』をエリアごとに開催してまいりましたが、コロナ禍でやむなく中断しています。厳しい状況が続く中、地域の皆様とつながっていくために『にしま**ちいき**たより』を作成いたしました。双方向のお便りになるよう、皆様の声をこれから載せていきたいと考えています。西部地区の懐かしい写真、日頃感じていらっしゃること、ご意見等を下記連絡先まで、是非お気軽にお寄せください。

社協 HP

発行：西部支え合いまち会議（にしまち会議）事務局（社福）目黒区社会福祉協議会　地域支援課
地域支え合い事業担当　　〒153-0051　目黒区上目黒 2-19-15　目黒区総合庁舎別館 3 階
TEL：03（5708）5792　FAX：03（3711）4954　　E-mail：sasaeai@meguroshakyo-i.net

令和４年３月発行